

KK インターサイファー・キャンディ・コンセントレート



一般情報に

キャンディ・コンセントレートは当社製品のゴズミックカラーウレタンエナメル

Kandys の色により深みを持たせるためにご利用になれます。キャンディ・コンセントレートは：

- ・ 作業時間短縮及び材料の減少が可能。
- ・ スピードが重要なオートバイや小さい部品に最適。
- ・ タッチアップに最適。
- ・ キャンディに色合いをつける。例：少量の KK-9 オーガニック・グリーン キャンディ・コンセントレートを K-2 ライム・ゴールド・キャンディに入れると、綺麗なライム・グリーン・キャンディができる。
- ・ フレーム、ドアジャム、トランク、ボンネット付近などの隠蔽性を上げるため。トップコートは半分で済む場合もある。
- ・ SG-100 インターコートクリア(ウレタンエナメルトップコートの場合)もしくは、SC-1 サンスクリーンクリア(アクリルラッカークリアの場合)に追加することにより、塗装の厚みを最小限に抑えることが可能。速乾性に優れるため、短時間のうちに多色の塗装が可能。
- ・ 長期間保存が可能。

全塗装の場合は色が長持ちする通常のキャンディを利用することをお勧めします。

重要

希釈にはハウスオブカラー製品のみのご利用をお勧めします。他社製品に当製品を利用する場合は事前に互換性に問題が無いか確認が必要です。

KK についての重要事項

下記に述べる KK はアートワークを上にした場合、染みになる傾向があります。アートワーク前には常に当社のブリードチェックシーラーSBS-10 をお使いください。ブリードチェックシーラーについての詳細はテックシートをご参照ください。2液性クリアコートをかぶせても染みの問題は解決しません。

注意が必要な KK 製品： KK-03、KK-05、KK-06、KK-10、KK-13。

KK-18 キャンディ・ピンクについての重要事項

KK-18 キャンディ・コンセントレート・ピンクは日射に弱く、できるだけ日射を避けられるような環境でのみお使いください。ショーカーに最適な製品です。

1. キャンディ・コンセントレートの希釈と塗装

通常、キャンディを作るにはクリアー1 ガロン(約 3.75ℓ)に対してキャンディ・コンセントレート2 缶(120g×2=240g)が必要です。

ウレタン仕様

■キャンディ・コンセントレートを UC-1、UC-35、UFC-1、UFC-35 もしくは UFC-19 クリアに加える場合

まず、リデューサーと硬化剤を調合し 1ℓを作ります。これに対してキャンディ・コンセントレートを 14g ずつ徐々に加え、かき混ぜ棒で色の度合いを確認します。より詳しくはテックシートでご確認ください。

■SG-100 インターコートクリアに入れる場合

インターコートクリアにキャンディ・コンセントレートを 14g ずつ徐々に加えてください。SG-100 を 4 回以上塗装するのは、お控えください。全塗装でのご使用はお勧めできません。混合と使用方法については、テックシートでご確認ください。

注:1 対 1 で希釈した状態でキャンディ・コンセントレートを追加するのが一般的です。

ドアジャムと外装の色を合わせるには、頻繁に色の度合いを確認するようにしてください。色はすぐに濃くなってしまいますので、もし濃くし過ぎた場合、少量のベースを追加して色あわせをしてください。

基本的な希釈

SG100 インター・クリアーに RU リデューサー(シンナー)を 100:50 の割合で希釈し、それにキャンディ・コンセントレート 110g 加えて作りますが、さらに少しずつ加え色合いを見て決めて頂いても結構です。

硬化剤は入れません。